



まつうらさんと
たびするほん4

ハコダテ～中山峠～温泉
～サップロ～イシカリ
～旭川～十勝越え

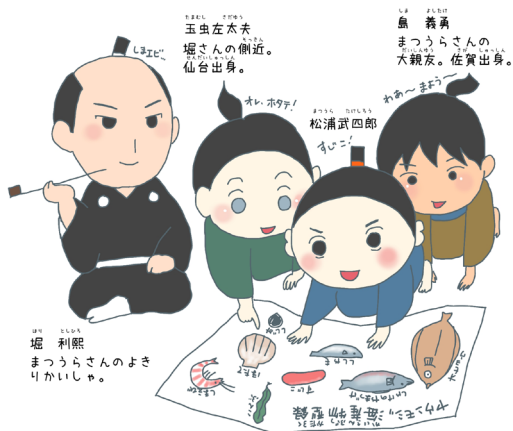


タケシロードツアーG

こんかい
とうじょうする
おもなちめい



これまでのあらすじ



たまむし 玉虫左太夫
堀さんの側近。
仙台出身。

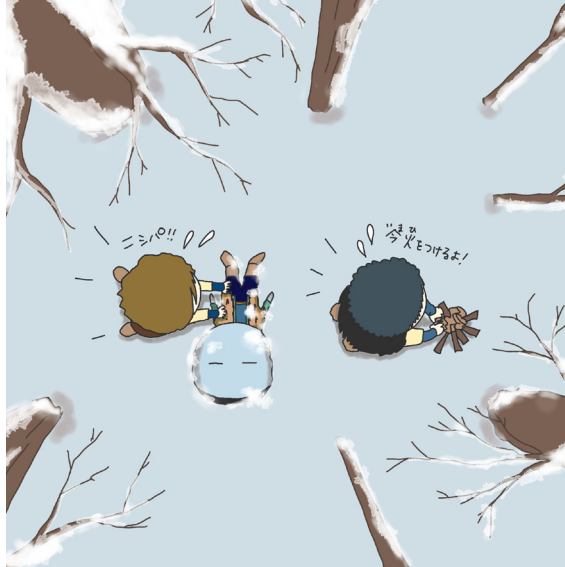
うし 魚 義勇
まつうらさんの
大親友。佐賀出身。

おれ、ホタテ!
松浦武四郎

わあ〜まつう〜

うら 堀 利熙
まつうらさんのよき
かりいしゃ。

あんせい 安政4(1857)年、函館ぶぎょうの堀さんがリーダーをつとめるチーム堀と協力しあって、まつうらさんはヤウンモシリの内陸を調査した。次なるミッションは、ヤウンモシリの中心部の調査だ。
とてもけわしい山々を攻略するため、まつうらさんがとった手段とは!? 安政5(1858)年へん、いざスタート!



あんせい 安政5(1858)年2月28日 午前4時

ニイルマナイ (岩見沢市北村)

まつうらさんは雪の中で凍えて動けなくなっていた。

なぜこうなったかといえば…。

*ニシバ:大切な人や目上の人をよぶいい方



さかのぼること安政5(1858)年1月11日 ハコダテぶぎょうしよ
ハコダテで年をこしたまつうらさんは、おしごと初日に出され
たぞうにをたべていた。

夏だなつと草木くさきで内陸ないりくのようすがわからないので、雪ゆきがつもっている
うちに調査ちさうさにでかけたいとねがいでたのであった。

調査ちさうさを許可きょかしてくれたかんじょうぶぎょうの村垣むらがきさんが「イシカリの
いいだもつれていってくれ」といった。

じつは、村垣むらがきさんといいだも千ム堀ちむほりのメンバーなんだよ。
村垣むらがきさんは頭キレッキレの元おんみつ、いいだいいだは去年こぞまつうらさん
のアドバイスあだしびきでサッポロ越新道こくどう（今の国道36号）をつくったのだ。



1月24日 ハコダテしゅっぱつ

ふぶきでキケンにあいながらアブタとうちゃく。2月8日には6人のアイヌのみんなのガイドでイシカりにむけてしゅっぱつ。

「なんでトーヤ湖は凍らないのかな?」と、まつうらさん。「ここが凍るとキケンになるんだよ」と、みんながおしえてくれた。



2月15日 ルベシベナイ (中山峠、喜茂別町側)

雪をふみかためて野宿のしたく。思ったよりはさむくなかったよ。夜の2時すぎに起きたら、めずらしくおどろくほどの快晴だったんだよ。まつうらさんは、「いよいよ今日は山ごえだ!」と、ごはんをたいて焼きおにぎりをつくった。

ためしよみ

は

ここまでです